

大河ドラマゆかりの地を盛りあげよう！ ラッピング（装飾）列車が運行

8月8日、JR 福知山線で、大河ドラマ「麒麟がくる」の主人公明智光秀にちなんだイラストなどが描かれた特急列車の運行が始まりました。柏原駅での停車時には、ゆかりの地を盛り上げたい多くの市民などが集まり、列車を見送りました。

家族で列車を見学に来た市民は「子どもが列車を好きなので見に来た。黒井城が大河ドラマにでたらいいな」とドラマへの期待を語りました。



甲冑を着て電車を見送る市民のみなさん

選挙の大切さを学ぼう 柏原高校で選挙出前授業を実施

8月27日、柏原高校で、3年生の生徒231人を対象に、選挙を通して政治に参加することの大切さを学ぶ「選挙出前授業」が行われました。

模擬投票を体験した井上桃さんは「投票率100%の時と、20%の時とで選挙の結果が変わることが分かった。若者が投票しないと自分たちの意見が反映されないの、11月の市長・市議選には投票に行ってみよう」と話しました。



模擬投票を体験した生徒のみなさん

認知症を予防し、健康寿命を伸ばすため 神戸大学との共同研究を開始



協定書を掲げる神戸大学の安田研究科長（中央）と品田副学長（左）

8月11日、市と神戸大学は、認知症を予防し健康寿命を伸ばすための共同研究事業に関する協定を締結しました。今後、一定の要件にあてはまる高齢者を対象に、運動や認知トレーニングを18カ月間受けてもらい、認知機能の低下を抑制できるかどうかを調べていきます。

神戸大学副学長の品田裕さんは「認知症は予防が大切。丹波市で新たな認知症対策モデルを確立したい」と話しました。

市民主体のまちづくりを応援！ 市民プラザ来場者数が1万人超え



1万人目の来場者になった玉利さん（中央）と来場者のみなさん

市民主体のまちづくりを推進するため、昨年10月に丹波ゆめタウン内にオープンした「市民プラザ」の来場者数が、8月26日に1万人を超えました。市民プラザでは市民活動の支援や男女共同参画推進のほか、子育て支援や会議室の貸出なども実施しています。

1万人目の来場者になった玉利尚美さんは「これからも子どもと一緒に利用したい」と話しました。

Special thanks

新型コロナウイルス感染症対策のため、皆様から様々な物品の寄贈や寄附金をいただきました。心から感謝申し上げます。

8月31日寄贈・寄附分まで

○6月～8月

- 物品 / Web カメラ、タブレットなど
- 寄贈者 / 丹波市オンラインプロジェクト（代表 藪下文也）様
- 用途 / 中学校でのオンライン学習などに活用

○8月7日

- 物品 / アルコール消毒液
- 寄贈者 / 氷上急行運輸倉庫株式会社様
- 用途 / 市役所窓口などに設置

○8月28日

- 寄附金 / 200 万円
- 寄附者 / 丹波ひかみ農業協同組合様
- 用途 / 予防対策・感染拡大防止対策などに活用

マイナンバーカードの申請などをお手伝い 申込相談会を開催



マイナンバーカード・マイナポイントそれぞれの申請支援を行った特設会場

9月6日、丹波ゆめタウンで、市民のマイナンバーカード申請やマイナポイント予約などのお手伝いを行う相談会が開催されました。休日に商業施設で申請できることが人気で、この日は148人の市民が特設会場を利用しました。

相談会に訪れた市民は「思った以上に申請手続きが簡単にできて良かった。おトクなマイナポイントをもらいたい」と話しました。

農の学校 通信

【1期生と2期生の交流会 編】



上：昼食を囲んだ交流会
下：野菜や果物が1期生から2期生に贈られた

9月2日、今年の3月に農の学校を卒業した1期生5人と、4月に入学した2期生11人の交流会が農の学校で開催されました。卒業生が育てた野菜と学校で採れた野菜を使って作られた昼食を囲み、1期生の就農状況が紹介されたほか、1期生が作った野菜や果物が2期生に贈られました。

1期生は、1人で栽培管理を行うことの苦労や、学校で学んだ知識の生かし方、獣害対策、農作業での悩みなど、様々な実体験を紹介。2期生は、卒業後の生活や進路、在学中に取り組むべきことなどをイメージできた様子でした。

農業に関わる中で、様々な不安や悩み・課題が発生します。農の学校は、栽培技術や知識の提供を行うだけでなく、人と人のつながりから解決の糸口を見つけられるような場を目指しています。